

痛みの診断を行い、痛みそのものを取り除く専門治療

ペインクリニックの治療について



お答え
古城クリニック
古城繁 院長

■プロフィール 昭和33年4月生まれ。昭和59年岡山大学医学部卒。平成7年～19年、福山光南病院勤務。平成19年、古城クリニック開院。麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科専門医
<メモ> ☎084(971)7335(野上町3-6-3)
<http://www.kojou.jp/>

「ペインクリニックの治療について、「古城クリニック」の古城繁院長に聞きました。

Q ペインクリニックとは何ですか。

A 指を切って痛い、胃潰瘍でおなかが痛いなど、痛みは体の異常を知らせる警告の役割を果たしています。こうした痛

みがあるから私たちは、けがや病気に気付き、危険を回避できるので。普通、治療はこの痛みの原因に対して行います。が、痛み自体が問題となる病気もあります。そんな痛みを取り除くのが、疼(とこ)痛専門外来(ペインクリニック)です。痛みの診断を行い、神経ブロックという手技と、内服・理学療法を組み合わせて治療を進めます。

Q 神経ブロックとはどういうものですか。

A ブロックとは神経の働きを一時的に遮断するという意味です。痛みで血流が低下すると、浮腫や痛みを強くする発痛物質が蓄積します。これが痛みをさらに増強させる痛みの悪循環で、頑固で強い症状の原因となります。

Q 神経ブロックは知覚神経をブロックして痛みを和らげ、血管を収縮させる交感神経をブロックすることで血流を良くし、痛みの悪循環を遮断、自己回復を促すのが目的です。例えば、硬膜外ブロックは、効果の期待できる所(硬膜外腔)まで細い針を挿して局所麻酔薬を注入し、知覚神経と交感

神経を両方ブロック。効果は1時間程度ですが、痛みの悪循環を断つことで回復を促進します。ブロック後に薬になってきますが、それは体が回復しているから。1回でやめてしまうのではなく、繰り返すことで効果が出てきます。

ペインクリニックの対象となる主な病気

- ①腰痛、足の痛みやしびれ＝腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊管狭窄症、変形性腰痛症、ぎっくり腰など
- ②首の痛み、手の痛みやしびれ＝頸椎(けいつい)椎間板ヘルニア、頸椎症など
- ③慢性頭痛、肩凝り、膝や肩の痛み
- ④帯状疱疹(ほうしん)や帯状疱疹後神経痛など
- ⑤三叉(さんさ)神経痛、舌咽神経痛
- ⑥その他＝顔面神経麻痺(まひ)、眼瞼痙攣(がんけんけいれん)など

安全性については、使用する局所麻酔薬は副作用も少なく、体からはすくができませんので、必ずお薬手帳を持ってきてください。

ただ、血液の抗凝固薬を飲んでいる方はブロック